2025 年 10月

２０２５年度同志社女子大学 海外研修（春期）
社会システム学科プログラム
「海外事情（アジアと女性）」募集要項

1. 目　的

このプログラムは、同志社立学の精神を生かし、本学の国際交流事業の一環として企画されたものです。本学協定大学であるアテネオ・デ・マニラ大学において、「フィリピンにおける女性についての実施研修」をテーマに、フィリピンにおける女性について現地で学習します。取り扱うトピックスは、女性と法、女性と移民、女性起業家、女性と高齢者、女性と政治、エコツーリズム。女性の社会進出が進むフィリピンの社会情勢を理解することで、国際感覚豊かな人材を育成することを目的としています。

2. 研修場所　　フィリピン（マニラ、ケソン市）アテネオ・デ・マニラ大学

3. 研修期間　　2026年3月2日（月）～3月12日（木）〔11日間〕

4. 引率教員　　Lisa Rogers 教授

【説明パワーポイント】

5. 研修内容

このプログラムは、「海外事情（アジアと女性）」（科目区分は学科により異なる。他学科生履修可。）の一環として行われます。参加者には秋学期の事前授業、現地での研修、事後レポートによる総合的な評価により、2単位が認定されます。履修登録は参加者決定後に教務課が行いますので、WEB 履修登録時に「海外事情（アジアと女性）」を登録する必要はありません。

a. 秋学期授業

秋学期に4回の授業（オリエンテーションを含む）を実施します。授業には、渡航に係る諸手続きの説明も含みます。

b. 学習課題

・フィリピン・マニラ市とケソン市の歴史的・文化的理解を深める
・フィリピンにおける女性についての理解を深める
・上記の理解に関して、英語/日本語で主体的に考え、活発な議論を行う
・学習する英語を積極的にフィールドスタディで使い、実践的にフィリピン社会の課題について考える

6. 参加費用

個人負担額　　３９０，０００　　円　（予定）

※為替レートの変動、スケジュール変更および参加人数などによって費用が変更される場合

があります。帰国後精算を行い、残金が生じた場合は返金し、上記理由により不足が生じた場合は、後日不足分を追加徴収します。
※本学から全員に補助金を支給します（なお、上記金額は補助金を差し引いた金額です）。

申込金3万円は11月5日（水）、残金は12月10日（水）に必要です。往復航空運賃（燃油サーチャージ含む）、現地交通費、現地実習費、宿泊費、海外旅行傷害保険料、海外アシスタンスサービス会員費等は上記金額に含まれますが、旅券申請費用等は含まれません。

7. 応募資格　全学部・学科生　※卒業年次生を除く

8. 募集人数　16名程度 （最少催行人数5名）

9. 募集期間　2025年10月3日（金）～10月22日（水） 17：00まで

10. 応募書類
①2025年度海外研修（秋期）プログラム　申込書
②2025年度海外研修（秋期）社会システム学科プログラム　課題作文

11. 応募方法
①下記の QR コードまたは URL より「申込書」と「課題記入用紙」をダウンロードし、全項目を入力。

②①を入力後、ファイル名を、「2025 申込書　学籍番号　氏名」、「2025 課題記入用紙　学籍番号　氏名」で保存する。

③②で保存した「申込書」と「課題記入用紙」を現代社会学部事務室宛にメール添付にて提出する。（提出先：gensha-t@dwc.doshisha.ac.jp）

④パスポートの顔写真のページのコピー1部を現代社会学部事務室窓口まで提出すること。
※ パスポートの新規取得には1ヶ月ほど時間がかかる場合があります。すでに取得している人も、有効期限が切れていないか、入国するタイミングでパスポートの有効期限が6ヵ月以上であるかどうかを必ずご確認ください。
※今出川キャンパスの方は、今出川キャンパス国際課窓口まで提出してください。

■「申込書」と「課題記入用紙」ダウンロード

https://www.dwc.doshisha.ac.jp/current/international_exchange/overseas_program/faculty/system

12. 選考方法

申込書、課題作文および面接（原則として、グループ形式）により、参加の動機、意欲、目標などを確認のうえ選考を行います。

13. 面 接 日
2025年10月24日（金） Zoom

※時間および場所の詳細は、申込者の学内メールアドレス宛にお知らせします。

14. 選考結果の発表と参加申込までの手続

① 選考結果の発表は、2025年10月27日（月）に、申込者の学内メールアドレス宛にお送りします

② 参加申込金の振り込みおよび誓約書の提出について（重要）
10月27日（月）～11月5日（水）17:00 までに、参加申込金3万円を教務課前パピルスメイトから払い込んでください。（平日朝 8:50～17:00 まで稼働。利用には学生証が必要です。）また、現代社会学部事務室窓口まで誓約書の提出も併せてお願いいたします。
今出川キャンパスの方は、今出川キャンパス国際課窓口まで提出してください。

※ この期日までに振り込みおよび誓約書を提出されなかった場合は、航空券手配の都合上、参加を辞退されたと判断しますので留意してください。

※ 期日までに参加申込金を振り込みおよび誓約書を提出された場合は、これにより申し込みが成立し、「海外事情（アジアと女性）」の参加費用が発生します。

※ 航空券発券（11月6日（木）を予定）後に申し込みをキャンセルした場合の航空券代の全額と現地プログラム費用現地滞在費用の一部は、ご負担いただきますのでご了承ください。

※ 参加申込金 3 万円を除く残金については、後日振込先をお伝えします。

15. 留意事項　・研修先（フィリピン）の政情等により、プログラムが中止される場合があります。
・食事は 3 月 7 日（土）のみ用意があります。

問い合わせ先：現代社会学部事務室（gensha-t@dwc.doshisha.ac.jp）











2025 年度 社会システム学科プログラム日程表（予定）

	月日（曜）	地 名	現地時間	交通機関	スケジュール
1	2026 年 3月2日(月)	関西空港発 マニラ空港着	未定	バス：アテネオ・デ・マニラ大学の迎え	関西国際空港に集合 フィリピン航空にチェックイン フィリピン航空にてマニラへ 昼食（機内食） 着後入国手続き 専用バスにてアテネオ・デ・マニラ大学へ移動 【ホテル、寮泊】
2	3月3日(火)	ケソン市		終日	オリエンテーション、キャンパスツアー、英語研修 【ホテル、寮泊】
3	3月4日(水)	ケソン市		終日	英語研修、アテネオ・デ・マニラ大学生と交流 【ホテル、寮泊】
4	3月5日(木)	ケソン市、マニラ市		終日	英語研修、JICA マニラへの訪問 【ホテル、寮泊】
5	3月6日(金)	ケソン市		終日	英語研修、アテネオ・デ・マニラ大学生と交流 【ホテル、寮泊】
6	3月7日(土)	マニラ市		終日	マニラでの観光と文化体験 【ホテル、寮泊】
7	3月8日(日)	ケソン市		終日	自由行動 【ホテル、寮泊】
8	3月9日(月)	ケソン市		終日	英語研修、女性とジェンダー講義 【ホテル、寮泊】
9	3月10日(火)	ケソン市		終日	英語研修、マリガヤハウス（ジャパニーズ・フィリピン子供支援団体）訪問 【ホテル、寮泊】
10	3月11日(水)	ケソン市		終日	英語研修、学生交流 【ホテル、寮泊】
11	3月12日(木)	マニラ空港発 関西空港着	未定	バス：アテネオ・デ・マニラ大学の送り	専用バスにてマニラ空港へ フィリピン航空にて関西空港へ 到着後、解散

※スケジュールは一部変更になる可能性があります。

問い合わせ先：社会システム学科（gensha-t@dwc.doshisha.ac.jp）